

まちかど アルバム



日進小学校

小学6年生が地図に残る大きな仕事

国土地理院が公募した老人ホームの地図記号に応募し、見事最優秀賞となった日進小学校6年、青木萌恵さんの表彰式が2月10日(金)、同校体育館で行われました。青木さんの考案した新しい記号は家の中に杖があるデザインで「直感的にそれと分かる」などの理由から、6万点近い応募作品の中から選ばれました。新記号は今年6月に刊行される地図から表示されるとのことで、青木さんは「早く出来上がった地図が見たい」とわくわくした様子でした。

弥生町

「うん、サブロッソ(おいしい)！」

2月13日(月)、NPO法人「鳥取スポーツクラブ」が主催するエクアドル料理教室がパレットとっとりで開催されました。エクアドルとつながりの深い同クラブで国際交流員として活躍しているマデリーソン・ガルシアさんを講師に、子どもがサッカーをしているなどの理由でエクアドルになじみのある人たちがエビのカクテルと鶏肉のワイン煮に挑戦。マデリーソンさんにトマトの切り方を教わったりソースの味見をしてもらったりしながら、約1時間で完成させました。早速、試食してみると「酸味が効いてておいしい」、「帰ったら家族に作ってあげたい」と料理の出来にみなさん満足したようでした。



鹿野町老人福祉センター

歌って、踊って、みんなで仲良く健康に

1月29日(日)、鹿野町老人福祉センター(しかの和泉荘)で恒例の「高齢者ふれあいレクリエーション大会」が開催され、町内の19の老人クラブと8つの文化団体あわせて443人が、歌や踊りを楽しみました。この大会は、日ごろの練習成果の披露と会員相互の親睦・交流を目的に毎年この時期に開催されているもので、午前のステージでは、コーラスや琴のグループによる演奏などが披露されたほか、午後からは、各老人クラブや個人による芸能発表が行われ、出演者は手づくりの衣装を身にまとい、踊りやカラオケ、安来節などを披露し、会場は大いに沸いていました。



気高町勝見

味噌をなめて防火の誓い

2月1日(水)、気高町勝見集落で170年以上続いている伝統行事「トウガラシみそ」が行われました。この行事は昔、大火で焼け出された住民が夜通し薬師堂にこもり、味噌にゴマと砂糖、たっぷりの唐辛子を加えた唐辛子味噌を作って、それをなめながら復興に力を尽くしたとの言い伝えを元に、毎年、旧暦の1月4日に行われているものです。この日は午後から集落の役員が公民館に集まって130世帯分の唐辛子味噌を作り、夜には集落の人たちが薬師堂に集まって、おにぎりに味噌をつけて食べながら、昔をしのびつつ、防火への意識をあらたにしていました。

